

小斎の歴史を学び、  
自らの地域との関わり方を  
考えよう。

<小斎城について調べよう>

## 今日のめあて

小斎城の歴史を知り、  
見学で知りたいことを  
考えよう。

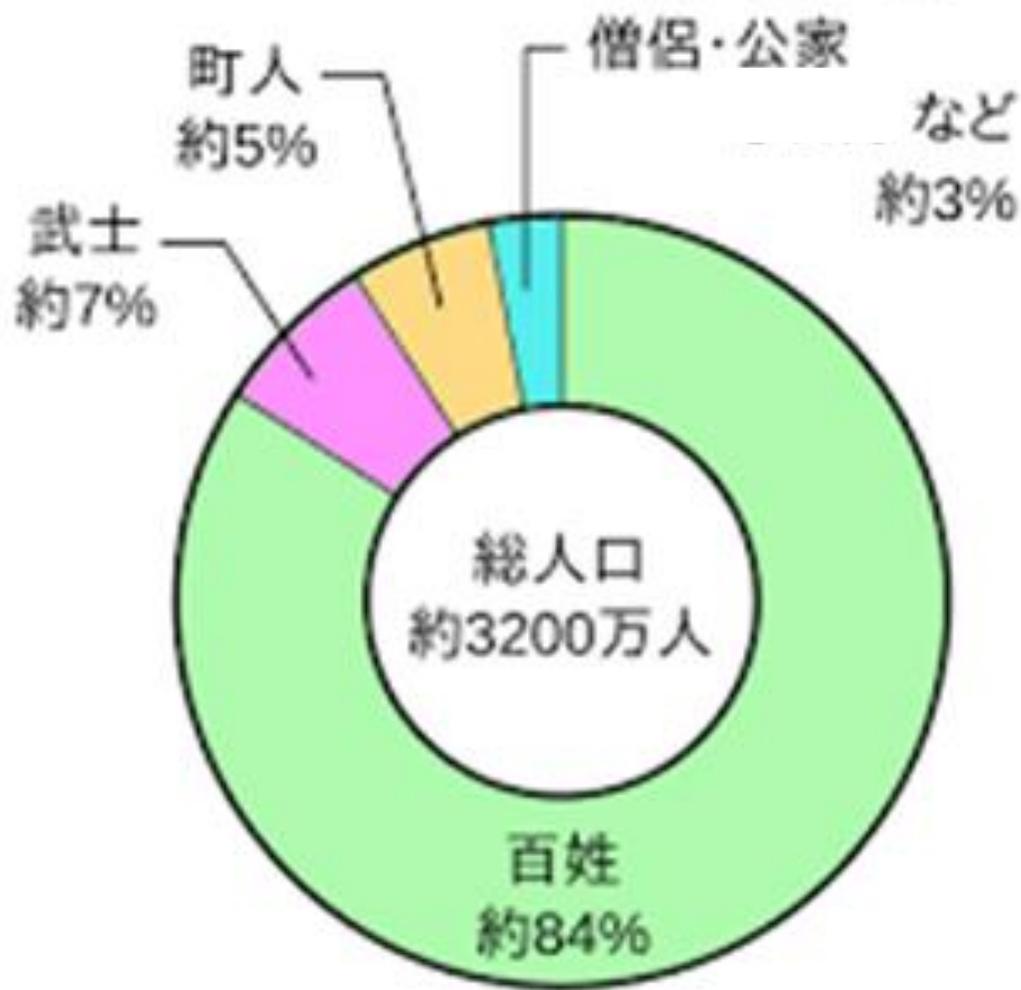
# 1. 小斎の地域

「石なし 下戸なし 百姓なし」

<意味>

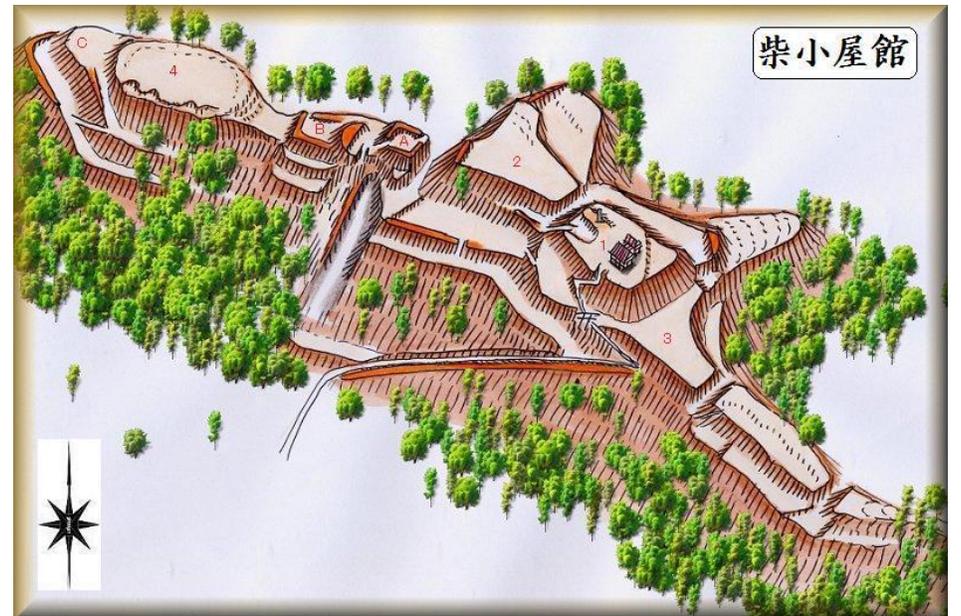
地域のほとんどの人が武士で、武士の務めを果たしながら、米や野菜を作っていた。

# <参考資料：江戸時代の身分別の人口>



## 2. 小斎城の別名

# 柴小屋城



# 3. 小斎城の歴史

- 1335 小斎山城助(やましろのすけ)が西舘に住み、小斎を納める。
- 1565 佐藤為信(相馬市の家来)が小斎氏を滅ぼす。
- 小斎城は相馬氏の領地となる。

1567 為信は小斎城代(城主に代わって城を守る者)となる。

為信は、西舘(小斎城)の東側に空堀(からぼり)を掘り、二の丸・本丸・三の丸を造った(柴小屋城とよばれる)。

→しかし、空堀は伊達氏の勢力が強くなったため、未完成だったようだ。

この年もう一つの出来事が・・・

伊達政宗が生まれる。



# 伊達氏と相馬氏の争いと小斎

1576 伊達氏が矢ノ目陣から小斎の相馬氏を攻める。

ところが・・・



矢ノ目陣

伊達政宗 初陣の地(北側案内板)

沼地(ぬまち)

(株)オグラサクス

遊仙寺

小斎郵便局

丸森町立小斎小

柴小屋館跡

八重垣神社

中前谷地

田谷場

五反田

壇ノ坪

山崎

古館

八幡神社

ミヤギエンジニア

杖屋内

小斎鹿島神社

北向

舟橋

1581 伊達政宗初陣(矢ノ目陣)。  
佐藤為信の反乱:相馬氏に背いて,  
伊達氏につく。

1584 相馬氏と伊達氏の和解  
→相馬氏は伊具郡(丸森町)から  
退く:伊達氏の領地となる。

1591 佐藤為信は登米市佐沼で戦死。  
為信の墓は、佐沼にある(らしい)。  
鎧兜(よろいかぶと)は鹿島神社に奉納されている。



1615 一国一城令(伊達氏の城は仙台城と白石城(特別), 小斎城は「在所」)。

1643 奉射祭が始まる(佐藤清信)。



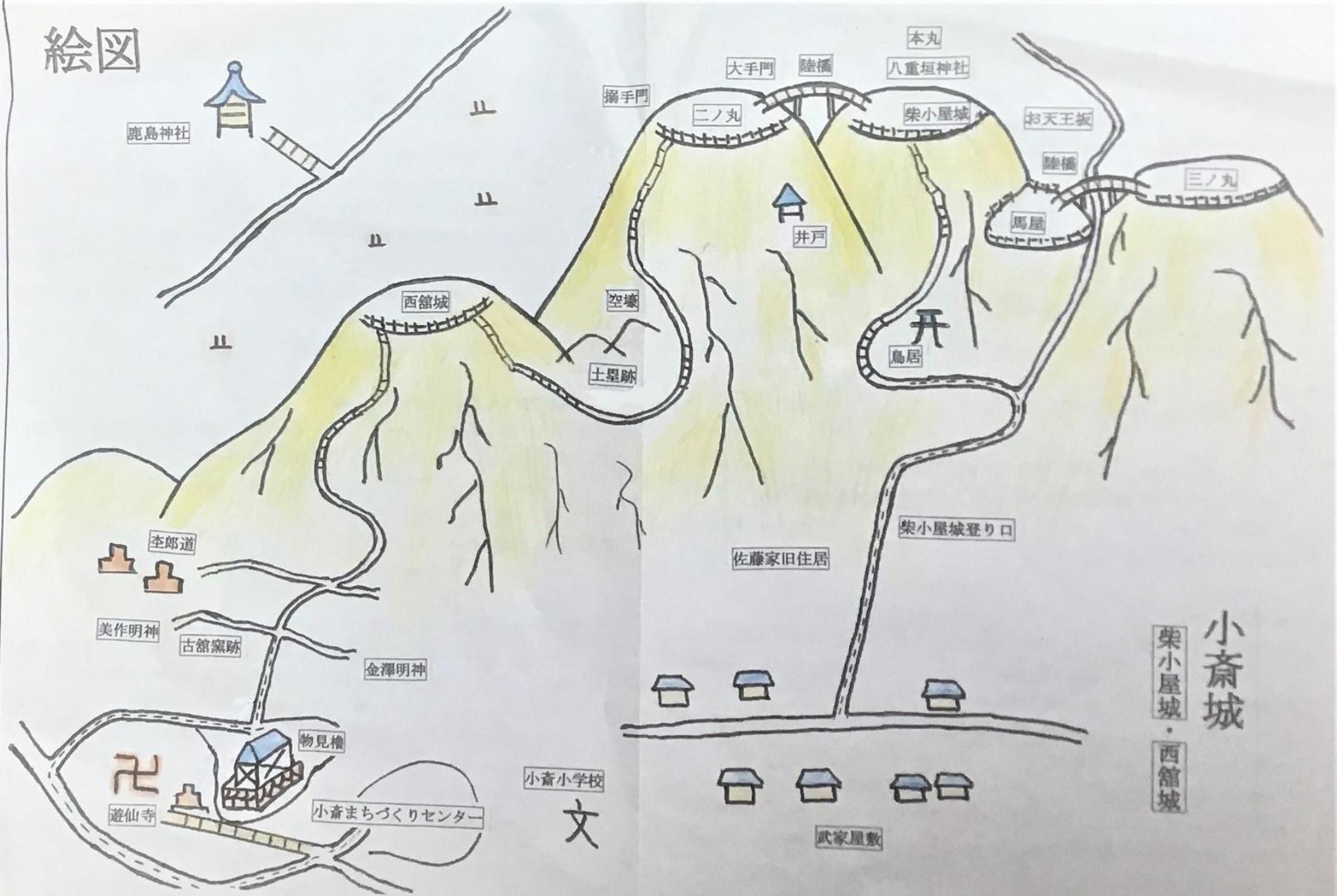
これで、小斎城のお話は終わりです。

この資料で「**どんなことが分かり**」ましたか？

小斎城について「**どんなことを知りたい**」

ですか？

# 絵図



鹿島神社



止

止

止

止

搦手門

大手門

陸橋

本丸

八重垣神社

二ノ丸

柴小屋城

お天王坂

陸橋

三ノ丸

馬屋

井戸

鳥居

空壕

土塁跡

西館城

李郎道

美作明神

古館竊跡

金澤明神

柴小屋城登り口

佐藤家旧住居

小斎城

柴小屋城・西館城

遊仙寺

小斎まちづくりセンター

小斎小学校

文

武家屋敷